

世田谷プラットフォーム

令和6年度「高等教育のグランドデザインに関する協議会」実施報告

世田谷プラットフォームでは、中央教育審議会が取りまとめた「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」について、「リカレント教育」に焦点を当て、18歳人口の減少等を踏まえ、高等教育機関に求められる役割、本プラットフォームに求められることについて議論しました。なお、本議論は今年度で4年目となり、継続的な議論を行っております。

2040年に向けた高等教育のグランドデザインに関する協議会

時：2024年12月20日15時00分～

形式：オンライン（Zoom）

テーマ：ビジネスキャリアデザイン講座IV

「若手世代が気になっていること」

〔参加団体〕

大学：国土館大学、駒澤大学、昭和女子大学、成城大学、東京都市大学、東京農業大学

産業界：東急株式会社、世田谷信用金庫

自治体：世田谷区

〔協議内容〕

1. 自大学の提供講座について分析

国土館大学：近年注目されている訪日外国人旅行者や地域活性化、国民の豊かな生活というものを観光マーケティング視点で学び、マーケティングについて自分自身の身近なものとして考えるきっかけになる内容になっている。若手世代、そして学び直しといったリカレント教育に繋がる講義になっており、グラフや写真、事例を活用し具体的な説明がある中で45分という適度な時間に収まっている。忙しい現代社会においては、音声の聞き流しで学べる講義という選択肢があってもいいように考えている。

駒澤大学：英語コミュニケーションを考える：英語と日本語の発想の違いに着目してというテーマ、AI技術とコンテンツの創作というテーマの2講座を提供した。20・30代にとって興味のある分野の講座を提供することができた。

昭和女子大学：デジタル化時代における消費者被害と予防策というテーマと未来のお金を計画する：ライフイベントに備えるお金の知識というテーマの2講座を提供した。主な対象者である若手ビジネスパーソンに限らず、幅広い年齢層の社会人の興味を引く講座となっており、全体テーマと合致した講座だったと評価している。

成城大学：今年度世田谷信用金庫様と連携し、20～40代に予想されるライフイベントと費用というテーマで講座を開講した。若手世代が気になっていることというテーマに沿って理解しやすい構成と説明になっていたと評価し、リカレント教育に適していると感じている。

東京都市大学：デザイン思考とユーザー体験(UX)の構想というテーマで開講した。今回のターゲットが20・30代となっており、スマートフォン、アプリ、SNSなどのデジタルツールとの関りが深い世代にとっても身近なテーマであり、キャリア形成にも役立つスキルといえることから、有意義な講座であると評価している。今年度よりリカレント教育部会が立ち上がったが、部会構成員と本協議会の構成員が異なる大学もあることから、部会において感想や意見など共有する取り組みを進めることで、効果的で充実した活動になるのではないかと考えている。

東京農業大学：健康をサポートする食品選びの基礎知識、特定保健用食品と機能性表示食品の違いについてといったテーマで、社会人生活、そしてキャリアアップを図っていくうえで最も大切な体の健康に寄与する食品について学ぶ講座となっている。今回テーマの枠が大きかっただけに様々な講座の選択肢があった中で、キャリア形成、キャリアアップに寄与できる講座で本学独自の視点から講座の開講ができたと考えている。来年度もテーマに沿いながらも、本学の特徴をいかした講座の提供を行っていききたい。

2. 産業界、自治体から全体的な評価

東急株式会社：若手の方が学ぶきっかけとして分かりやすい講座が開講できているという印象を受けた。時間も40分～50分程度とタイムパフォーマンスを意識する若い世代の方に適した配分になっていると考える。スマートアカデミーについても、スムーズに動画を視聴することができ、扱いやすく馴染みやすいものであると評価している。

世田谷信用金庫：今年度初めて成城大学と連携し、講座の開講を行った。各講座においては、専門用語が分からなくとも視聴することができ、大変分かりやすい内容であった。ビジネスキャリアデザイン講座の広報にあたって、現在世田谷プラットフォームのホームページに掲載されているが、その記載内容において東急様と世田谷信用金庫の記載がないことから、区内産業界、地元企業というようなワードで追加をいただきたい。また、ビジネスキャリアデザイン講座Ⅲも2025年3月まで視聴できることからまだ視聴ができることをPRしてもよいのではないかと。ビジネスキャリアデザイン講座の本来の目的である新たな知識やスキルの習得の機会を提供することに繋がっていると感じた。

世田谷区：日本は人口減少局面に推移し、世田谷区も決して蚊帳の外ではなく、今後15年程度で人口減に転じるという推測もされており、区としても将来的な人口減少社会を見据えて持続可能な地域社会をどのように作っていくか、担い手の育成が喫緊の課題であると考えている。今後想定される社会の変化に対応していくために、あらゆる世代を対象とした学びの重要性が増し、ライフステージを通じて何度でも学び直すことができる環境を整えていく必要があるように思っている。この時代背景や観点から見ても、この世田谷プラットフォーム事業のビジネスキャリアデザイン講座の取り組みはそれぞれに求められている役割を的確に果たすものであると捉えている。講座の時間は若手の方が隙間時間に見れる適度な時間となっており、テーマについても20・30代のビジネスパーソンが興味を持つ内容のラインナップを取り揃えられている点は評価できる。ライフイベントに関する講座が2つあったが、公的助成の制度やローンの制度など、若い世代の方たちが今後のキャリアを考えるうえで欠かすことのできない内容になっており、運営の面では、受講料は無料で申し込みば視聴できるという環境が大変便利である。視聴数の出だしは良好とのことだが、世田谷区も周知の部分で協力していきたい。具体的な媒体については別途世田谷プラットフォームの皆様と調整をしていきたい。

3. 総括

事務局長：今年度も、6大学の連携のもと、若手世代が気になっていることという同一テーマでありながら、異なる切り口でそれぞれの大学の特徴をいかし、バラエティーに富んだ講座を提供することができた。多くの受講があったのは、6大学の連携なくして達成できないものであり、取りまとめていただいている成城大学様の成果のおかげと思っている。毎年異なる講座の実施を継続的に積み上げていくことで、年々このプラットフォームでしかできない講座になっているのではないかと感じている。今後は、特徴をいかしつつもよりビジネスキャリアアップ、キャリアチェンジに寄与する一面、そして幅広い年齢層を視野に講座の展開に取り組んでいきたい。本日、寄せられた意見をもとに地域における高等教育をより一層発展できるよう努めていければと思う。講座はまだ公開されてばかりであるため、各方面から広報活動に協力をお願いしたい。

世田谷プラットフォームでは、今後も地域における高等教育の活性化並びに区内産業界、更には、世田谷区全体の発展に寄与することを目的として、高等教育のグランドデザインについて協議していきます。